

# ファースト・ステップ 5

## クリスチャンとは？

このレッスンでは、「クリスチャンとは？」や「クリスチャンとそうでない人は何が違うの？」そして「もしクリスチャンになったら、私の生活はどう変わるの？」といった質問の答えを探っていきます。



考えましょう：クリスチャンになるとはどういう事だと思いますか？クリスチャンとそうでない人は何が違うと思いますか？

クリスチャンとは、（1）**聖霊**によって新しく生まれ、（2）**イエス・キリスト**の死と復活を信じる信仰を通してイエスを主として従い、（3）**父なる神**を喜んで神の栄光のために生きる人のことを指します。

上記にまとめたクリスチャンの3つの特徴を一つずつ深く見ていきましょう。

### 1.クリスチャンとは父なる神を愛し、神を喜び、神の栄光のために生きる人です。

#### 神を愛する

最も基本的なクリスチャンの特徴としてあげられるのは、クリスチャンは神を愛するということです。イエスは、最も大切な命令は神を愛する事だと教えました。



#### マルコによる福音書 12章29~30節

イエスは答えられた。「一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』」

けれども、神の私たちへの愛が私たちの神への愛よりも先でした。私たちの神への愛は、神の私たちへの愛への応答なのです。



#### ヨハネの手紙第一 4章19節

私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。

愛のうちに、神は私たちをご自分の息子、娘として神の家族に受け入れられました。全能の創造主、主権者、聖なる父である神が、罪人である私たちを神ご自身の子とし、子が受ける特権を与えられたというのは本当に素晴らしいことです。クリスチャンは神の子どもなのです。



#### ヨハネの手紙第一 3章1節

私たちが神の子どもと呼ばれるために、――事実、いま私たちは神の子どもです。――御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。

#### 神を喜ぶ

クリスチャンは神の驚くべき美しさ、栄光、価値を見て、その応答として神を喜びます。クリスチャンはお金や健康や長寿といったような様々なご利益を得るために神を愛するものではありません。言うならば、神ご自身こそが私たちの報酬なのです。「天国」も「永遠の命」も、神と共にいられるからこそ良いものです。イエスはこう言われました。



#### ヨハネによる福音書 17章3節

「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」

クリスチャンは神を喜び、他の何よりも神を強く求めます。神は私たちの楽しみです。



#### 詩編 73篇25節

天では、あなたのほかに、だれを持つことができましょう。地上では、あなたのほかに私はだれをも望みません。



#### ピリピ人への手紙 4章4節

いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

#### 神の栄光を讃える

神は、神の栄光を示し公に表すために、神ご自身のために私たちを創造して救われました。実際、あなたがクリスチャンになるとき、あなたの罪はイエス・キリストによって赦され、あなたの人生の目的が変わるのです。イエス・キリストにある信

仰を通してクリスチャンであるという事が、神の栄光を讃えて生きる人生を可能にします。あなたはもはや自分自身のために生きるのではなく、神のために生きるのです。クリスチャンは、自分がするすべての事を、神のためにしようとします。



#### イザヤ書 43章6~7, 21節

(神は言われた：)「わたしの子らを遠くから来させ、わたしの娘らを地の果てから来させよ。わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造し、これを形造り、これを造った。... わたしのために造ったこの民はわたしの栄誉を宣べ伝えよう。」



#### コリント人への手紙第一 10章31節

あなた方は、食べるにせよ、飲むにせよ、何をするにせよ、すべて神の栄光のためになさい。

コリント人への手紙第一 10章31節にあるように、食べたり飲んだりなど生活の中のすべてのこと、それは勉強や仕事、休んだり遊んだり、社会的なイベントに参加することも含めて、神の栄光を讃え、公に表し、示し、宣言するために行います。

日常生活の中で、人はたくさんの決断をしています。「どこに住むか？」や「この転職は家族のためになるのか？」などの決断です。クリスチャンはただ「自分は何をしたいのか？」や「何がみんなのためになるのか？」などを考えるだけに留まりません。もちろんこれらのことを考えるのも大切ですが、クリスチャンはそれらのことを考える前に、まず、「何が最も神を讃えることか」を神に聞き、それを踏まえて、何がみんなに対して愛あることか、を考えるのです。



考えましょう：あなたが決断をするとき、何が最も重要な要因になりますか？

人が、人生の中で何かをしたり決断したりするのは、主に自分の思いからであったり、自分の周りの人を尊重したいという思いからです。クリスチャンは人を愛するべきであり、また個人の願いや好みを持つ自由がありますが、クリスチャンの人生はまず、神中心であるべきなのです。

## 2.クリスチャンとはイエスに信仰をおき、イエスに従う人です。

### 信仰

クリスチャンは、聖書によって、個人としてのイエス・キリストと彼が行ったことを信じます。イエスは神聖な神の御子であり、予言された救い主であり（ファーストステップ4参照）、永遠に存在する方（誰かによって造られたもの=被造物ではない）であり、すべての主です。クリスチャンはこれらのイエスについての真実を信じます。

クリスチャンとは、イエスの生涯、死と復活が本当にあった歴史的な出来事であると信じる人のことです。イエスは神の御子であり、人となって処女より生まれ、罪のない人生を生き、死に、三日後に死よりよみがえり、天に昇り、またいつの日かこの世を裁くために戻って来られます。



#### ローマ人への手紙 10章9節

なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

クリスチャンとは、私たちの罪のために死に、死からよみがえったイエスの救いに信頼する人です。クリスチャンは自分自身の良い行いが赦しや永遠の命に値しないことを知っています。



#### エペソ人への手紙 2章8~9節

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることはないためです。

福音（私たちの罪のためにイエスが死に、よみがえったこと）を信じるとはただ私たちがクリスチャンになるためだけにすることではなく、クリスチャンは人生を通してイエスへの信仰によって生きるのです。私たちは信仰によって救われ、信仰によってクリスチャンとして成長し、神と共にある永遠の命を資産として受るまで信仰によって守られるのです（ペテロの手紙第一 1章4~5節）。

### 従う

クリスチャンはイエスを自分たちの主として従います。イエスは私たちをご自分に従い、ご自分の弟子になるように招いています。



#### ルカによる福音書9章23節

イエスは、みな者に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

イエスに従うとは、私たちの意志、計画、優先順位、私たちの人生のすべてを彼に明け渡すことを意味します。クリスチャンはイエスの導きに従い、自分の人生の主人の座をイエスに明け渡します。これが、イエスの弟子になる代償です。

イエスを主として従うということは彼の命令に従うということです。私たちはイエスが良い主であること、そして彼は私たちのためにならないことをせよとは決して言わないと信じています。しかし、時に、なぜイエスがこんなことしなさいと言ったのか理解できず、またなぜこのようなことが自分や友人、身の回りの人々に起こったのか全く理解できないこともあるでしょう。しかし私たちはイエスを信頼するがゆえに彼に従います。私たちはイエスが何を命じているかを聖書を読むことによって知ります。私たちは神の愛を得るため、また神の愛を保つために従うではありません。むしろ、神が初めに愛してくださったから、その愛への応答としてイエスに従うのです。「クリスチャン」という言葉は「小さなキリスト」という意味です。これは本当にその通りで、私たちはクリスチャンとして成長すればするほど、イエスのようになっていきます。



#### ヨハネの手紙第一 2章6節

神のうちにとどまっていると言う者は、自分でもキリストが歩まれたように歩まなければなりません。



考えましょう：今までイエスについて学んだ中で、イエスの人格や命令のどの部分を真似たいと思いますか。

### 3. クリスチャンは聖霊によって新しく生まれ、義の実を結ぶ人です。

クリスチャンになるということは、ただ単に考え方が変わったり、行動が修正されるだけではありません。クリスチャンになるということは、私たちの心の内の、聖霊の超自然的、奇跡的な働きです。イエスはこの超自然的な変化をこのように表現しています。



#### ヨハネによる福音書 3章3と6~7節

イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。... 肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。」

クリスチャンは、ただ単に自分で自分のことをクリスチャンと言うだけの人や、国勢調査でキリスト教を選ぶ人、クリスチャンの家庭に生まれた人、教会に教会員として登録されている人、もしくは献金をする人のことではありません。クリスチャンとは、聖霊によって内側から霊的に変えられた人のことです。

事実、信じる人には、聖霊が来てその内に宿るのです。まさに、聖霊による神の臨在（存在）がいつもクリスチャンと共にあり、イエスのように生きることができるよう助けてくれます。



#### 使徒の働き 2章38節

そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。」

神の恵みによって聖霊が私たちの心の内に働き、私たちに、神のために良い行いをしたいという願いと、その良い行いをするための力（能力、才能）の両方を与えてくれます（ピリピ人への手紙 2章12~13節）。聖霊によって、本当に新しく生まれたクリスチャンは、良い人格と良い行いという「実を結ぶ」のです。



#### ガラテヤ人への手紙 5章22~23節

しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

良い人格と良い行いという実が私たちが救ったり、救われているという状態を保つものではありませんが、この実は新しく生まれてきたことの、確かな副産物なのです。

#### まとめ

クリスチャンの人生は旅のようなものです。クリスチャンであるということは、完璧な人であるということではなく、むしろ、人として完成されていくということなのです。

クリスチャンがいつも正しい願いを持つとは限りませんが、いつも神様がその心に働きかけ続けます。クリスチャンは罪を犯すことも、間違ふこともあります。そのような時、その罪や間違いを神に告白し、赦されます。神の愛は決して見捨てることなく、神の恵みは尽きることがありません。

#### 三位一体

このレッスンで、父である神、子である神、そして聖霊である神について話したことに気づきましたか？聖書は私たちに、私たちの唯一の神は三つのそれぞれ別の位格を持って存在していると教えています。それは父、子（イエス・キリスト）、聖霊の三つです。これを三位一体と言います。もしかしたら不思議に思われるかもしれませんが、神ご自身のあり方は私たちの理解や

知識を大きく超えて神秘的ですが、私たちは神の三つのそれぞれの位格が私たちの救いを達成するために働かれると理解することができます。

父なる神が私たちを創造し、愛し、ご自身の子どもとなるように選ばれました。神は、私たちの救いを達成するためにイエス・キリストと聖霊を送られました。

子である神（イエス・キリスト）は人となり、罪のない人生を送り、私たちの罪の身代わりとなって死に、死からよみがえり、今も生きておられます。

聖霊なる神は、父とイエスより送られ、私たちの死んだ心を生き返らせ、すべての信じるものの内に宿ります。

---

ファーストステップ3の中で、あなたが神に向かう道のりのどこにいるかを知るためのいくつかの質問があります。もう一度それらの質問を考えてみて、今、あなたが道のりのどこにいるかを見てください。

あなたは自分が罪人であり、イエスが必要だと信じますか？

あなたはイエス・キリストが唯一真（まこと）の神の子であると信じますか？

あなたはイエスがあなたを救うため、あなたの罪の代償を払うために死んだことを信じますか？

あなたはイエスが死からよみがえったことを信じますか？

あなたはイエスがあなたの主であり、救い主であると信仰をもって告白する準備ができていますか？

あなたは悔い改め、洗礼を受け、イエスと共に新しい人生を始める準備ができていますか？



考えましょう：あなたはクリスチャンになる準備ができていますか？

---

イエスに従い、洗礼を受けたいと思われたら、ファシリテーターか牧師に「洗礼の準備ガイド」についてお尋ねください。